

## 会 議 録

会議名	平成26年度第1回目黒区住宅政策審議会
日 時	平成26年8月26日(火) 午後6時～8時
場 所	目黒区総合庁舎本館地下1階第15会議室
出席者	1 委員(13名)…中島明子、村山武彦、葉袋奈美子、宮澤宏行、いいじま和代、 青木早苗、星見てい子、坂本史子、磯部暁、谷田和美、岡川 行利、雑賀成元、渡邊善久(敬称省略) 2 区(事務局)…都市整備部長、住宅課長、住宅計画係長、居住支援係長、居 住支援係員
欠席者	松本暢子、山崎ヨシ子(敬称省略)
傍聴者	1名(聴覚障害者)、手話通訳者2名(行政手配)
配布資料	【事前配布資料】 ○目黒区住宅政策審議会委員名簿 ○目黒区住宅マスタープラン(概要版) ○資料1 目黒区都市整備部住宅課事業概要(平成25年度実績) ○資料2 目黒区公営住宅等長寿命化計画 ○資料3 目黒区サービス付き高齢者向け住宅供給制度事業者募集案内(平成26 年度) ○資料4 公的住宅案内・民間賃貸住宅の家賃助成 ○資料5 目黒区住宅基本条例 ○資料6 目黒区住宅政策審議会規則 ○資料7 会議の公開に関する要綱 ○資料8 住宅政策審議会に係る会議録の作成方法及び会議録、会議資料の情報公 開に関する取り扱いについて ○資料9 東京都住宅マスタープラン 【当日配布資料】 ○座席表 ○目黒区住宅マスタープラン(本編) ○資料10 平成25年度住宅・土地統計調査(速報集計)結果の要約(総務省報 道資料) ○資料11 目黒区住宅マスタープラン[第5次]施策の進捗状況(平成25年度) ○資料12 目黒区住宅政策審議会開催状況(平成21年度～25年度) ○資料13 平成26・27年度目黒区住宅政策審議会スケジュール(案)
会議次第	1 開会 2 委嘱式 (1) 委嘱状交付 (2) 区長あいさつ 3 区側職員紹介 4 会長・副会長選任

	<p>5 各委員自己紹介</p> <p>6 審議会の運営について</p> <p>7 議題</p> <p>(1) 目黒区の住宅施策について</p> <p>(2) 目黒区住宅マスタープランの進捗状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>8 閉会</p>
<p>会議の結果及び主な意見 (要旨)</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱式 青木区長より委嘱状を交付</p> <p>3 区側職員紹介</p> <p>4 会長・副会長選任</p> <p>(1) 審議会成立の確認 委員15名中13名の出席で本会議は成立を確認。</p> <p>(2) 会長・副会長選任 委員からの推薦を受けて、会長に学識経験者の中島委員、副会長に松本委員を選任。</p> <p>5 各委員自己紹介</p> <p>6 審議会の運営について</p> <p>(1) 事務局より審議会の運営について説明。 委員 会議録は、要点筆記ではなくすべて記録すべき、要点筆記なら録音データを残すべきでは。</p> <p>区 会議録はどの審議会でも同様の形で作成している。意見があったので、今後所管と調整したい。</p> <p>(2) 会議録署名人の指名、傍聴の確認 会長及び村山委員を指名、傍聴は1名の聴覚障害者と2名の手話通訳者を承認。</p> <p>7 議題</p> <p>(1) 目黒区の住宅施策について</p> <p>区 資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：都市整備部事業概要（住宅課分抜粋） 14章住宅管理について、平成3年東京都から公営住宅の移管を受け区営住宅の管理・運営している。平成26年4月1日現在14団地、23棟、553戸の区営住宅を運営している。碑文谷母子寮の移管を受け、来年9月碑文谷アパート37戸として竣工する予定である。 中堅ファミリー世帯用の住宅として、208戸の区民住宅を管理・運営している。区民住宅は、20年の借り上げ期間満了に従い返還していく予定である。 高齢者福祉住宅については、現在17住宅235戸整備されている。 サービス付き高齢者向け住宅については、募集に対して応募はまだない。</li> <li>15章居住支援について、区内民間賃貸住宅あっせんは平成26年度14件あっせんし4件成約している。</li> </ul>

家賃助成について、高齢者世帯等居住継続家賃助成は今年度応募が 115 世帯の内 100 世帯を審査対象とし、要件を満たせば助成していく。ファミリー世帯家賃助成について、今年度 70 世帯の募集に対し 130 世帯の応募があり、抽選により 95 世帯を審査対象とした。

16 章住環境整備について、住宅リフォーム資金助成事業は平成 26 年度から費用の 10% 上限 10 万円に変更している。さらに、賃貸住宅のバリアフリー化工事についても助成の対象とした。

- ・ 資料 2 : 目黒区公営住宅等長寿命化計画  
現在ある公営住宅について長寿命化により長く活用するための計画である。
- ・ 資料 3 については説明を省略する。
- ・ 資料 4 : 公的住宅案内・民間賃貸住宅の家賃助成のチラシを説明。
- ・ 目黒区住宅マスタープラン (本編、概要)  
平成 24 年度から 33 年度までの計画を策定した。
- ・ 資料 10 平成 25 年度住宅・土地統計調査 (速報集計) 結果の要約 (総務省報道資料)

概要版を配布した。詳しくは総務省統計局のホームページを参照してほしい。

- ・ 資料 12 目黒区住宅政策審議会開催状況 (平成 21 年度～25 年度)
- ・ 資料 13 平成 26・27 年度目黒区住宅政策審議会スケジュール (案)  
平成 26 年度は 2 月に第 2 回を開催する。平成 27 年度は平成 28 年度マスタープランの第 6 次改定に向けて、平成 22 年度と同様な審議をすることとなる。
- ・ 資料 11 目黒区住宅マスタープラン [第 5 次] 施策の進捗状況 (平成 25 年度)

実施状況は、「実施済み」が施策数 94 に対し平成 24 年度 81 に対し平成 25 年度 86 となっている。評価別では、「達成した」が平成 24 年度 19 に対し平成 25 年度 23 となっている。

委員 未実施はなぜやれなかったのかが知りたい。

区 No.26「防犯に配慮した構造・設備・管理対策の誘導は未実施であり、今後の課題は担当所管の調整が必要となっている。全体で、未実施は 2 件、検討中が 2 件、進行中が 5 件となっている。

委員 サービス付き高齢者向け住宅の募集に過去 3 回応募がなかったが、将来的に条件の変更等検討しているか。

区 都との関係もあり変更は検討していない。応募がないのは、土地の問題などいろいろな要因があると考えている。現在サービス付き高齢者向け住宅は、民間も含め目黒区にはない。

委員 目黒区の住宅政策にかかる予算はいくらか。

区 平成 25 年度約 14 億 5 千万円である。歳入は、国の補助金は 2 億 6 千万円、東京都から 5200 万円、国・都からの交付金、使用料等がある。

委員 高齢者福祉住宅について、平成 22 年度 (マスタープランの) 達成率は

36.7%だったが、平成28年度235戸の目標を平成25年度達成し実施済みとなっている。前倒しで実施したことは評価できるが、さらに整備が必要と考えるがどうか。

区 第5次マスタープランで、平成33年度270戸を目標に整備していく計画である。

委員 ひとり親世帯に対する住宅の支援について、環境も含めて検討していただきたい。

委員 ファミリー家賃助成の中でひとり親世帯が26世帯助成されている。評価できる。

委員 サービス付き高齢者向け住宅の募集に9件の相談があったとのことだが、応募に至らなかった理由などがわかれば出してほしい。マスタープランの進捗状況で評価が下がった施策が14件あるとの説明だったが、具体的には。

区 マスタープラン進捗状況のNo.2は評価2から3に下がった。No.3も同様である。評価は所管としての目標に対する評価であり、目標に対する進捗状況のため、この評価になっている。

委員 ここでいう評価は、評価ではなく事実しか書いていない。評価の仕方を検討してはどうか。

委員 進捗状況で評価が低い施策に共通しているのは、担当所管が多岐にわたり調整が必要となっているが、なぜ進捗しないのか、調整機関はあるのか。

区 評価を評価のまま終わらせるのではなく、課題は検討していく。調整については所管課に働きかけていく。

委員 リフォーム助成について、高齢者への働きかけは。

区 制度の周知については、区報、ホームページ、回覧、掲示板等を活用している。

委員 周知の方法が受動的ではないか、もっと積極的な方法の工夫を。

委員 意見・質問の方法は。

区 会議録を送付する際に、課のメールアドレスを周知する。

区 次回2月上旬夜の開催で調整し周知する。

会長 審議会を終了する。

閉会

以上は、会議の概要であることを証する。

委員署名

中島明子

村山武彦